

# 講演：「操船シミュレーション手法の活用による 航行安全対策への貢献」 (第62回月例会)

## ■講演概要等

近年、大阪湾内に入出港するコンテナ船が大型化し、大型クルーズ客船も増加しており、その航行安全の確保が喫緊の課題となっています。これらの船舶の入出港に関し、その安全性を検討、評価するため、海難防止審議においては各種のシミュレーション手法を用いてきました。しかし、従来の操船シミュレーション手法においては、操船者を含めた評価者の主観評価に頼る傾向があったことから、当会においては、平成27年度から3ヶ年にわたり日本海事センターの補助を受け、船体の制御量や運動量といった客観的なデータを解析・評価するとともに主観評価をできるだけ客観化して評価できるよう工夫して、操船シミュレーション手法の標準化を目指し、操船シミュレーション手法に関する各種の調査研究を行ってまいりました。

これらの調査研究の委員長として主導していただいた古荘教授から操船シミュレーションの現状における位置づけや航行安全対策にどのように操船シミュレーションが貢献しているかなどについて、分かり易くお話しいたします。

## ■講師

講師 神戸大学 大学院 海事科学研究科  
教授 古荘 雅生 (ふるしょう まさお) 先生

## ■開催日時

平成31年2月28日(木) 15:00~16:30頃まで

## ■開催場所

起業プラザひょうご (サンパルビル 6階)  
神戸市中央区雲井通5丁目3-1  
電話 078 (862) 5302



主催 公益社団法人 神戸海難防止研究会 (担当：藤原)  
電話 078 (332) 2035

**入場無料 ご自由にお入りください！(定員50名)**